

# 技術・家庭 (技術分野)

東京書籍

教育図書

開隆堂

令和6年度

中高・飯水地区中学校教科用図書採択研究協議会

種目（技術・家庭【技術分野】）

発行者名 採択基準	東京書籍 (新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原理・法則や基礎的な仕組みについて、図などを効果的に掲載し科学的根拠に基づく知識及び技能が身に付くよう工夫がなされている。</li> <li>・多様な問題解決例を数多く取り上げ、個々の課題設定や課題解決に生かすことができるよう配慮がなされている。</li> <li>・今日の社会で問題にされている課題に取り組む技術を紹介することで、生徒の興味・関心が高まるよう配慮がなされている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)身の回りの問題解決から社会の問題解決まで、基礎・基本から応用・発展へと学べるよう、単元構成の工夫がなされている。</li> <li>(2)「問題解決例」や「社会の発展と技術」等の身近な例から、生活を工夫し創造することができるような題材構成の工夫がなされている。</li> <li>(3)「技術のめがね」「最適化の窓」「技術の工夫」などの身近な例を掲載し、興味・関心をもった追究ができるよう工夫がなされている。</li> <li>(4)実習中等の安全な作業の方法や事故防止のポイントを、ガイダンスや「安全」マーク、「衛生」マークで記し、安全面・衛生面への配慮がなされている。</li> <li>(5)さし絵・写真・図表・配色等が鮮明で、本文はユニバーサルデザインフォントを使用している。実習例等を見開き2ページに大きく表示し、学習の見通しが持てるよう配慮がなされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)ガイダンスで、3年間で身に付く資質・能力について、小学校での学習や、他教科との関連がつかめるよう配慮がなされている。</li> <li>(2)生活や社会と技術との関わりや、「すごいぞ！技術」で各内容に関連する最先端の技術を紹介することで、生活との関連性や社会変化に対応した技術に関心もてるよう配慮がなされている。</li> <li>(3)各編の導入において、身の回りの製品や社会における技術の最適化について取り上げ、「技術の見方・考え方」によって、既存の技術の工夫を読み取ることができるよう配慮がなされている。</li> <li>(4)個別に調べたり他者と学び合ったりする場面を設定することで、原理、技術の工夫について他者と関わり合いながら主体的に学ぶことができるよう配慮がなされている。</li> <li>(5)さし絵・写真・図表等の内容は適切で、文章と関連をもたせた構成になっており、随所に二次元コードを配置することで、具体的に学習を広げられるよう配慮がなされている。</li> <li>(6)節の冒頭に観点別評価につながる目標を示し、編末には評価の観点に沿った設問を掲載することで、生徒が身に付けた資質・能力を確認できるよう工夫がなされている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各内容における問題解決後に、レーダーチャートを用いた問題解決の評価、改善・修正を行うページを各編に設けている。ものを作ることで終わりとせず、見方・考え方を働かせてさらなる問題解決に向かいたいくなるような内容の工夫がなされている。</li> <li>・統合的な問題解決例が分かりやすく示されている。学習のプロセスにおいて、具体的にどのような材料やツールを用いて学習を進めればよいか、見開き1ページにすっきりとまとめられている。</li> </ul>

種目（技術・家庭【技術分野】）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">教育図書（新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〈見つける→学ぶ→ふり返る〉の学習の流れで、学習の理解を自己評価して深められるよう配慮されている。</li> <li>・設計・計画の流れを各編で共通で4ステップにまとめることで、生徒が問題解決の力を養えるよう配慮されている。</li> <li>・技術の役割や活用についてまとめることで、これまでに学んだ技術の見方・考え方を働かせることができるよう配慮されている。</li> </ul>
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)「社会を支える技術」、「技術による問題の解決」、「社会の発展と技術」の3要素に沿って系統的に配列されている。</li> <li>(2)ガイダンスや各章の題材構成が、「見つける」「学ぶ」「ふり返る」等の身近な問題から、生活を工夫し、創造することができるよう工夫されている。</li> <li>(3)生活を実感的にとらえるために「スゴ技」「技ビト」「資料」などで興味・関心をもった追究ができるように配慮されている。</li> <li>(4)実習中等の安全な作業の方法や事故防止のポイントを、巻頭に示したり、文中に「安全マーク」「衛生マーク」で記したりして、安全に作業できるよう配慮されている。</li> <li>(5)さし絵、写真、図表、配色等が鮮明で、本文の書体はUDフォントを使用している。実習例などを見開き2ページ大きく表示し、左から右へ製作の流れが詳しくわかるよう配慮されている。</li> <li>(6)内容を要点的にまとめ、短い文、大きく見やすい文字が多い。</li> </ol>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)学習の項目の冒頭に他教科や小学校とのリンクマークを設け、教科間・学校種間の連携が高められるよう配慮されている。</li> <li>(2)「環境マーク」「共生マーク」を配することで環境への意識を高め、持続可能な社会に対応していく態度が身に付くよう配慮されている。</li> <li>(3)各編で、見方・考え方を扱い、見つける、見つめる・学ぶ・ふり返るという学習の流れを積み重ねることで主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。</li> <li>(4)生徒がイメージしやすい発問を生徒同士や生徒と教師による対話形式で掲載するとともに、本文を3文構成にして、深い学びのための工夫や社会との連携を考えられるよう工夫されている。</li> <li>(5)さし絵・写真・図表等の内容は適切で、説明等が段階を追って記述されている。各章扉に最新の技術や建造物などを取り扱えるよう配慮されている。</li> <li>(6)各編の1章、2章の終わりにまとめのページが配置され、各編の終わりには3つの観点毎にまとめ問題が配置されており、内容を確認することができるよう工夫されている。</li> <li>(7)付属の「スキルアシスト」は、作業や授業に関する内容が端的に表されており、作業前にポイントを短時間で確認しやすい。</li> </ol>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入で簡単な題材の製作をすることや、さし絵、写真、図表、配色等が鮮明で、内容を要点的にまとめてあるなど、製作することの喜びや技術を学ぶことのよさを感じられるよう工夫されている。</li> <li>・多様な題材を掲載し、手順を分かりやすく示すことで、興味・関心をもって追究できるよう工夫されている。また、作業内容は別冊にまとめられており、製作時には別冊を見るだけで製作に取り組めるよう工夫されている。</li> </ul>

種目（技術・家庭【技術分野】）

<p>発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>開隆堂（技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会や環境と技術の関わりについて理解を深めながら、知識及び技能が身に付くよう工夫がなされている。</li> <li>・学習課題を明示することで生徒の問題意識を高め、自ら解決しようとする能力を養うよう配慮がなされている。</li> <li>・技術の在り方や活用の仕方を客観的に判断・評価し、主体的に活用する態度を育むよう配慮がなされている。</li> </ul>
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>（本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等）</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒の生活経験や発達段階及び授業時数などを考慮して各内容が系統的に学習できるよう配列されている。</li> <li>(2) ガイダンスや各内容の中で、「見てみよう」「調べてみよう」等の身近な問題から、生活を工夫し創造することができるような題材構成の工夫がなされている。</li> <li>(3) 各内容で具体的な製品から仕組みなどを考えるようになっており、興味・関心をもって学習できるよう工夫がなされている。</li> <li>(4) 実習中等の安全な作業の方法や事故防止について、全体像をイラストで記したり、ポイントを「安全」マークで記したりするなど、安全面への配慮がなされている。</li> <li>(5) さし絵、写真、図表、配色等が鮮明で、ユニバーサルデザインフォントを使用している。レイアウトは見開きを有効に活用しており、資料との区別が明確になるよう配慮がなされている。</li> </ol>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>（「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価）</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 小学校や他教科との関連をとびらページで示し、学年・教科等横断的なカリキュラムを構成しやすいよう配慮がなされている。</li> <li>(2) 最先端技術や、現代技術の課題や問題点について考えさせられる話題が取り上げられており、将来的にも技術に関心や課題意識をもてるよう配慮がなされている。</li> <li>(3) ガイダンスページで「技術の見方・考え方」を取り上げ、各内容でそれを働かせる授業展開になっており、既存の技術を「技術の見方・考え方」で読み解くことができるよう配慮がなされている。</li> <li>(4) 「実験」や「ワークシート」が随所に配置されており、他者との関わり合いをもちながら主体的に学ぶことができるよう配慮がなされている。</li> <li>(5) さし絵、写真、図表、配色等は分かりやすく、生徒目線のアングルで撮影した写真が使用されるなど、学習を広げる配慮がなされている。</li> <li>(6) 各学習項目の最後に「CHECK」、内容の終わりに「学習のまとめ」を設け、学習内容の確認や技術の仕組み、工夫の評価と、学びを深める発展的なまとめができるよう工夫がなされている。</li> </ol>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各編の最初に「身の回りの技術」や発展の歴史が扱われており、興味関心を高めたり自分の生活につなげて考えたりしながら学習に取り組めるように工夫がなされている。</li> <li>・各編の最後に「これからの技術」が扱われており、自分の学習を振り返りながら学んだことを未来にどうつなげていくか、技術をどう活用していくかなどを考えられる工夫がなされている。</li> </ul>